

## シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神医学Ⅱ		授業の種類  ( 講義 ・ 演習 ・ 実習 )		授業担当者  肥後成美
授業の回数  15回	時間数(単位数)  30時間(2単位)	配当学年・時期  3年2学期		必修・選択  選択
<p><b>【授業の目的・ねらい・到達目標】</b></p> <p>脳の構造と局在化している機能を勉強することで、個々の部位の統合作用として発露している我々の行動・思考の状態をより深く把握できる。それが精神障害の病像を適格に理解し、医療者としての治療、介護への正確な対応へと繋がると考える。</p>				
<p><b>【授業計画】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 精神作用物質による精神および行動の障害(アルコール)</li> <li>2 精神作用物質による精神および行動の障害(モルヒネ、アンフェタミン)</li> <li>3 統合失調症(概念、疫学)</li> <li>4 統合失調症(病因、病型)</li> <li>5 統合失調症(治療、鑑別診断、統合失調症近縁の疾患)</li> <li>6 気分障害(単極性気分障害)</li> <li>7 気分障害(双極性気分障害)</li> <li>8 神経症性障害(治療、病型:不安障害)</li> <li>9 神経症性障害(病型:解離性障害)</li> <li>10 生理的障害および身体的要因に関連した障害(摂食障害)</li> <li>11 生理的障害および身体的要因に関連した障害(睡眠障害、性関連性障害)</li> <li>12 成人の人格および行動の障害(特定的人格障害)</li> <li>13 成人の人格および行動の障害(習慣および衝動の障害、性同一性障害)</li> <li>14 小児期・高齢者と精神医学(広範性発達障害、高齢者の精神症状)</li> <li>15 精神保健と社会(刑法・民法と精神医学)</li> </ol>				
<p><b>【使用テキスト・参考文献】</b></p> <p>プリント資料を配布する。 精神医学テキスト:上島匡利・立山萬里/編集、南江堂 標準精神医学:野村総一郎他/編集、医学書院</p>			<p><b>【単位認定の方法及び基準】</b></p> <p>期末試験の成績で判断する。</p>	